



美濃加茂^新24景

📍みのかも文化の森／美濃加茂市民ミュージアム ☎28-1110

23 古井神社の風景

「中山道分間延絵図」1807(文化4)年に、中山道から延びる「飛州道」と記される道があり、美濃加茂を起点とする飛騨街道の根拠となっています。国道21号線神明堂交差点付近にある道標には「右 東京善光寺 左 飛騨高山 八百津 麻生 道」
「1893(明治26)年建立」とあり、飛騨街道は、そこから北東へ進んだと考えられています。

中富町の住宅街を進んでいくと途中、「中富町史之碑」(1968(昭和43)年建立)があります。この碑は、町名が中富神社に由来するものであると記しています。中富神社は、古井神社の前の名称であり、1909(明治42)年に、ほかの三つの神社と合祀され古井神社と名を改めました。道はそこからさらに北へ向かいます。道沿いには川原石である玉石で囲った畑があり、幅の狭い真つすぐでないその道の様子からは、砂ぼこりの舞う、雨が降ればぬかるみ、冬は凍てつく「土の道」を想起させます。

やがて古井神社の参道に入り、神社沿いに飛騨街道は続いていきます。参道沿いにかつては「右川合左川辺」という道標と常夜灯がありました。今は記録に残るのみです。